

古墳時代・古代の食器

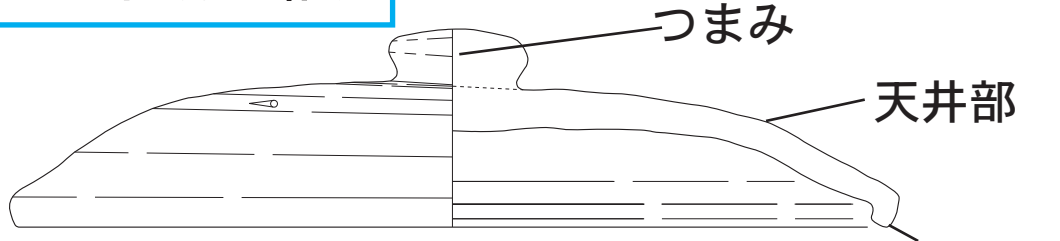
す え き つき

須恵器の坏

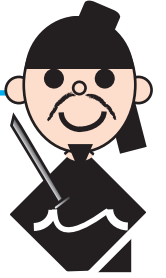


中大兄皇子
(天智天皇)

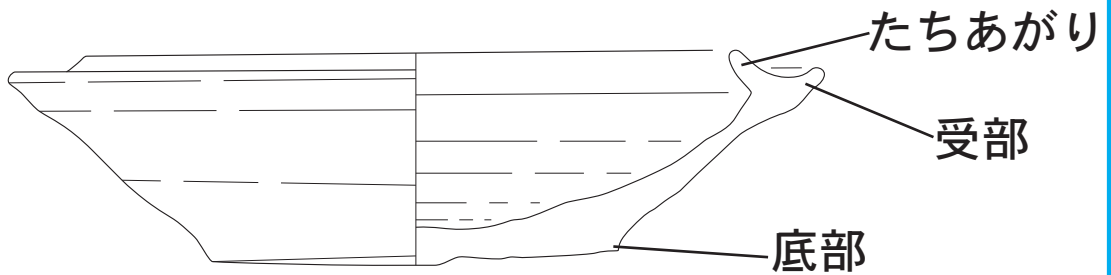
部分の名前の紹介



坏 蓋



中臣鎌足



坏 身

古墳時代・古代には、須恵器の坏が現れ、広く普及するようになります。食器は、坏や鉢のような手持ち（底持ち）食器が中心になっていき、それとともに小型の高坏は減少していきました。